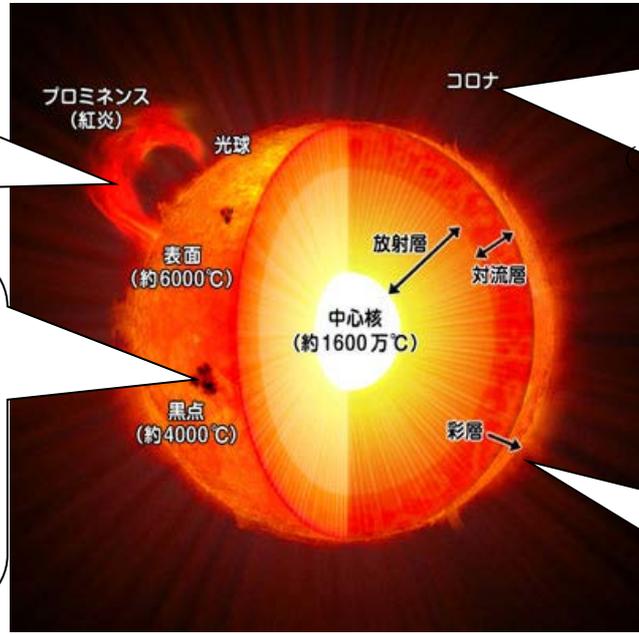


光り輝く太陽 ～恒星の構造～

太陽の表面温度は（約 ）の高温な火の玉である。太陽は（ ）やヘリウムHeを主成分とする（ ）である。中心の核の部分は（ ）反応によって（約 ）℃もの高温になっている。太陽の直径は地球の（約 ）倍もの大きさで、そこから発せられる膨大なエネルギーによってわれわれ地球の生命が維持されているばかりか、太陽系全体を（ ）などの有害なものから守っている。

（ ）
太陽表面付近からときおりふき出す巨大なアーチ状のほのおのこと。地球よりも大きいときもある。

（ ）
太陽の表面にできる巨大なうずまきで（約 ）℃まわりの温度より低いので黒く見える。地球から観察すると、太陽の自転によって（ ）に少しずつ移動している。

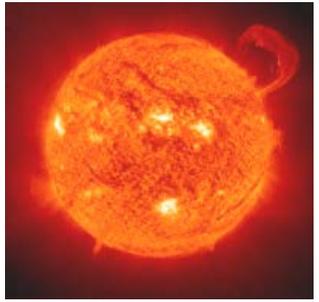


（ ）
太陽のまわりに広がる高温のガスのこと。（ ）℃以上



（ ）
太陽表面の黒点の周囲で突然、急に明るく輝きだす現象のこと。

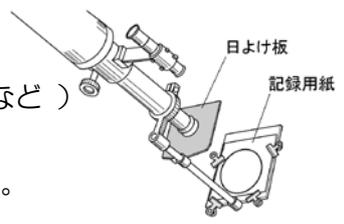
惑星は太陽に光を受けてかがやいており、地球の恵まれた環境も、太陽から降り注ぐ光が大きく影響している。太陽のようにみずから輝き、光や熱を宇宙空間に放出している天体のことを（ ）という。



太陽の表面を観察しよう！

太陽の姿の観察方法にはコツがある。今日はそのコツを教えます。

- ① 観察の際に準備するものは？
（天体望遠鏡、太陽の円を描いた記録用紙、日よけ板、筆記用具、クリップ、時計など）
- ② 天体望遠鏡で観察する時、安全面からもっとも気をつけないといけないことは何か。
（ ）
- ③ 観察時の天体望遠鏡の準備について、次の（ ）内に言葉を入れなさい。
まず（ ）場所を選んで三脚を固定し、望遠鏡をとりつける。そして望遠鏡に（ ）をとりつけ、記録用紙をクリップで固定する。最後に望遠鏡を太陽に向け、像がはっきり見えるように（ ）と（ ）の位置を調整する。主に黒点を観察しましょう！



ちなみに太陽の黒点の観察結果から自転（自分でまわること）していることがわかる。しかし、ガスのかたまりなので、赤道と両極付近では自転速度がちがうが、赤道付近では約（ ）日周期で自転している。

3年 組 番 氏名